

折に触れ 四字熟語

NO. 323 【虚実皮膜】 きょじつ ひまく

< 意味 > 芸は実と虚の境の微妙なところにあること。事実と虚構との微妙な境界に芸術の真実があるとする論。江戸時代、近松門左衛門が唱えたとされる芸術論。

< 出典 > 『難波土産』
なにわみやげ

語 釈：「虚実」はうそとまこと。虚構と真実。「皮膜」は皮膚と粘膜。転じて、区別できないほどの微妙な違いのたとえ。「膜」は「にく」とも読む。

一 言：4月1日はエイプリルフールとかで他愛ない嘘が許される日のようです。そこで「虚」の漢字には嘘の意味合いもありますので虚の字が入った熟語を取り上げました。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」